

## 船舶事故調査報告書

平成22年9月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委 員 横 山 鐵 男（部会長）

委 員 山 本 哲 也

委 員 根 本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成21年10月28日 04時30分ごろ
発生場所	千葉県いすみ市大原港東防波堤灯台から真方位192° 2.9海里付近 (概位 北緯35° 12.6′ 東経140° 23.8′)
事故調査の経過	平成21年10月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明となったため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>はつえい</sup> 初栄丸、0.9トン CB3-76308（漁船登録番号）、個人所有 6.62m(Lr)×1.86m×0.72m、FRP ガソリン機関、100kW（漁船法馬力数）、平成6年7月26日
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年5月23日 免許証交付日 平成19年6月11日 (平成25年5月9日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、操業のため、千葉県いすみ市岩船漁港を出航した。 僚船の船長は、岩船漁港の北東方海域の漁場から帰航中、同漁港の南側から北北東方向に延びる防波堤（以下「本件防波堤」という。）北端付近に差し掛かったとき、1隻の漁船が、南方沖合から本件防波堤の東側中央付近に接近したのち、回頭して沖合へ向けた平成21年10月28日04時30分ごろ、船首が持ち上がり、それまで見えていた回転灯が見えなくなったのを視認した。 僚船の船長は、不審に思い、確認のため、入港してから陸路で本件防波堤に赴いたところ、本船が転覆した状態で本件防波堤の近くまで流されているのを発見した。 船長は行方不明となった。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 4 海象：波高 約1m
その他の事項	僚船の船長は、サーチライトを点灯して漁船を視認した。 岩船漁港は、本件防波堤の北側から出入りするようになっており、本件

	<p>防波堤の先端、中央及び基部には照明灯がそれぞれ1個設置されていた。</p> <p>本件防波堤の東側付近は、水深が浅く、高い波が発生しやすい状況であった。</p> <p>船長は、出港時、救命胴衣を着用していたが、同救命胴衣は、事故発生場所付近で発見された。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、船長が1人で乗船し、岩船漁港に向けて帰航中、本件防波堤の東側中央付近に接近したのち、回頭して沖合に向けた際、高波に船首が持ち上げられて転覆した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、岩船漁港に向けて帰航中、本件防波堤の東側中央付近に接近したのち、回頭して沖合に向けた際、高波に船首が持ち上げられたため、転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	